



こばりっ子ドリームプロジェクト

～KOBA弁を作ろう～（6年生） 小針小学校

小針小学校6年生では、総合的な学習の時間で、もっと小針地域の良さを実感して郷土愛を深めようと、小針オリジナル弁当『KOBA弁』のメニューを考え販売する活動を行っています。

1 「弁当の日」で、自分のできることに取り組もう！



みんなで食べるとおいしいな！



お母さんとメニューを相談したよ。

お弁当箱につめるのを手伝ったよ。

「弁当の日」でKOBA弁へのオリエンテーションをかねて意欲付けをしました。



2 「クラスKOBA弁」を決めよう！

私たちの住む「小針」のある西区の特産品を中心に、新潟市の特産品を調べるところから始めました。そしてそれらをメニューに取り入れて構想をスタートさせました。まずは、一人ひとりが「オリジナルKOBA弁」を考えました。

次にグループごとに披露し合い、お互いの良さを取り入れながら「グループKOBA弁」を考えました。さらに、「グループKOBA弁」を学級でプレゼンして、次に学年で紹介し合う「クラスKOBA弁」を決めました。



昨年の6年生はどんなお弁当を考えていたか参考にしよう。



主菜は何がいいかなあ。



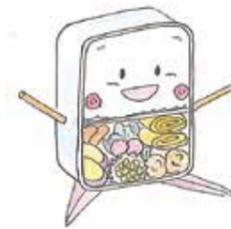
クラスでプレゼンする時に、自分たちのお弁当の良さを分かってもらえるように、発表にクイズ形式を取り入れて楽しく発表しました。

子どもの声

- 特産品を調べたり、旬の野菜を調べたり、大変なこともありましたが、お弁当メニューを作るなんてことは初めてだったけれど、メニューを考える時には、いろんなことを考えなければいけないんだなあと思いました。
- 自分の考えたメニューは選ばれなかったけれど、みんなでいっしょに相談したので、納得して決めることができました。

3 専門家からアドバイスをもらおう！

学年でプレゼンをして各学級のメニューを紹介しました。その時にはよりよいお弁当ができるよう専門家の皆様からアドバイスをもらいました。



お弁当を販売してくれる「いっぺこ〜と」の方々からは、販売者の立場から、生産性のことや旬の食材の仕入れ状況を意識したメニューを取り入れることなどについてアドバイスをもらいました。



小針在住の管理栄養士の神部さんからは、弁当全体の栄養面や味付け・使う食材のバランス・彩りなど細かい点でアドバイスをもらいました。



学年全体と専門家の方の前で発表するのは緊張しました。しかし、学級で話し合っで学級で「これがベストだ！」というお弁当を考えたと、自分たちのお弁当の良さを分かってもらえるように資料も一生懸命に書き上げました。発表にも力が入りました。



子どもの声



みんなが好きなたれカツと新潟名物ののっぺが入っておいしいです。特産品がたくさん入っているのでぜひ、食べてほしいです。



わたしは、クラスKOBA弁を決めるために、みんなとたくさん話し合いをしたので、クラスの仲が深まったと思います。販売もがんばりました。



神部先生と山崎さんからアドバイスをもらい「見た目」「栄養」もパワーアップしました。販売のお手伝いした時には、良さをしっかりアピールできました。



みんなで協力して考えて、栄養の大切さを改めて知りました。クラスで一緒に考えてよかったです。いろいろな人にぜひ食べてほしいです。

